

予選通過作品・ 本選発表順序	NO.	タイトル	審査員コメント（予選通過者を除く）
	1	Frost pillar	北海道をモチーフとした氷の柱を連ねた霜のようなアーチのデザインは見事。材の組み合わせや接合方法によっては期待大。ぜひ会場でこの美しい架構の展示・載荷をしてほしい！（宮城）
	2	割り箸×段ボール	シンプルなトラスを割り箸と段ボールというありふれた素材を輪ゴムのみで接合しつつ、下弦材に割り箸をあえて設けずにダンボールに期待し、さらに束材となる割り箸を長めに設定して架構のたわみによる机レベル以下にならない工夫も秀逸。是非とも会場で実物を見たい。（山脇）
	3	折板+アーチ	使用する紙という素材「折る・丸める」といういたってシンプルな活用方法、今回のコンペの意図を的確に理解し、形状的にもセンスよく構成しているところにとても好感が持てました。この発想力をこれからも持続してほしいと思います。（伊賀）
	4	umbrella	クロスさせたタイアーチに、集中荷重を分散させる四分割位置に支点を配していることが秀逸。傘の骨をアレンジする発想が見事！かさ上げ木ブロックやクロスタイアーチをつなぐ輪ゴムもカラフルで見た目も美しい。是非とも会場で実物を見たい架構。（山脇）
	5	GlueGun	材料にグルーガンを使用した着想に面白さを感じます。また応募様式の表現の美しさには、目を引くものがあります。架構として構築する難しさはありますが、表現やデザイン性について今後のご活躍を期待しています。（渡邊）
	6	シンプルなタイバー付山形架構	構造上、最も単純な架構をご提案いただき耐力に関しては興味のあるところです。上弦材に焼成した粘土棒を使用することにチャレンジ性を感じますし、どうなるのか？期待したいところでした。構造設計の基本ともなるご提案に感謝いたします。（渡邊）
	7	ら〜めん構造	構造を学んだら一度はやってみたくなる駄洒落的「ラーメン」の誘惑を、そのまま形にした愉快的な作品です。素材として「割り箸」との組み合わせは秀逸な一方、構造提案の具体的なディテールがなかったのが残念。トラスでなく、ぜひともラーメン構造で見てみたい作品です。（伊藤）
	8	to line up	パクンチョの個々の要素はトラス機構であるものの、全体として曲げ系の場合、部材効率が低くなりがちなのと、1mのスパンに耐えうかが少し疑問があり、パクンチョでトラス系等が構成されるとより実現性も高くなったと思います。しかしながら昔からある折り紙の組み合わせで架構を形成する、しかもプレゼンでの彩りも鮮やかであり、大変センスが光る作品です。（久次米）
	9	octagon	上下2段計8本の山形架構で支持し、スラストをテンションリング&タイバーで処理することで、荷重を分散しスレンダーな部材を実現する考え方が見事。グルーガンによる接合部の強度が決め手か？ぜひ会場で見てみたい。（宮城）
4	10	ringarch	（予選通過）
	11	立花橋〜弱さにある強み〜	弱さと強さという相反へのチャレンジとして面白さを感じました。また、美しさも感じ得ます。構造的には疑問ものところですが長大スパンで実現すると美しい橋梁になるのではないのでしょうか？今後のご活躍を期待しています。（渡邊）
7	12	ストローブ	（予選通過）
1	13	Iced Wire Truss	（予選通過）
	14	Snow Symbol Arch	実証実験を行いながら構造計画を志向する姿勢は構造設計の基本ですが、本件はテンセグリティを採用して洗練化を図る点も非常に好感が持てました。最終形（テンセグリティクアーチ？）がどのようになるのかがもう少し具体的に見たいと思いました。（久次米）
	15	「カツゲンをSLSにカツヨウ！」	インパクトNo1、ダイナミックな一発芸的な面白作品！人間ピラミッドのようなカツゲン構造、お祭りにふさわしい材料選択にまちがいはありません。せつかくのネタなので、むしろとことん大真面目にディテールを突き詰めて他を圧倒する説得力があると痛快でした。（伊藤）
3	16	相持ち作用による片持梁	（予選通過）

	17	柔らの極意「柔よく剛を制す」	単純な競い合いばかりで無く、多彩なアイデアを保ちつつも低炭素化への提言など壮大なテーマをこのコンテストに取り入れていただいたことに大いに敬意を表したいと思います。また、提案においても理論的な構築がされており力とエネルギーを視野にいれたご提案には構想的力が垣間見られています。今後も構造分野で大いに活躍いただけることを期待しています。(渡邊)
8	18	TRITENT	(予選通過)
	19	糸で吊るす	四角錐形状による上下部のスラスト処理、細部の要素が架構のどこに用いられているか、という点が明快なプレゼンになるとより良くなると思いますし、是非現物を見たいと思いました。ディテールを詰めて全体を考える姿勢は構造計画上大変重要な要素であり、我々もその姿勢を改めて省みることを考えさせられる作品です。(久次米)
	20	竹を編む	タイ・アーチを竹を曲げて構成し、直交する竹を「編む」ことで摩擦接合とし、接着剤を使用しないアイデアが秀逸。タイ材を例えば竹を割いた繊維としたり、竹の中空構造を利用して支点の竹を通してタイ材を完結させるなど、もう一つ突き抜けたアイデアが欲しかった！是非とも会場で編み込んだ竹架構を見たい。(山脇)
	21	折版フレーム	折版フレームによる合理的な形状での解法に加え、孔開けによる軽量化を図っており、実力は充分と思われる。ぜひ会場で実物の載荷をしてほしい架構。(宮城)
	22	Spiral distortion	アーチとトラスの組み合わせが生む、ダイナミックな造形性が魅力的。プレゼンテーションの画力の力強さと説明の明快さも説得力がありました。竹での軽量化はよいと思いますが、反発性を制御して構造上どのように成立するか、現物で確かめてみたい作品です。(伊藤)
9	23	ketun-ni	(予選通過)
	24	氷点下一枚	北海道の独自文化からインスピレーションを受けた制作プロセスからの～、熊→カツゲンの展開のコンテキストの唐突さ！熊重そう！開催タイミングを考慮した「凍り手ぬぐいのシェル構造」でも十分イケるのでは(笑)。思わず読み込んでしまうプレゼンの面白さはピカイチで、妙な魅力がありました。(伊藤)
	25	風船による膜架構	「奇想天外」というのが応募資料の絵図を拝見しての第一印象です。私もこれくらいの発想を見習わなければなりません。現物を見てみたいと強く思いました。リアルスケールの実用化に向けて真剣に取り組む企業が出て来てほしいものです。沢山の特許を取れることでしょう。(伊賀)
2	26	対岸を傷つけないこと	(予選通過)
6	27	SNOW MAN	(予選通過)
5	28	カツゲンパラグライダー	(予選通過)
	29	Spiderweb Shell	蜘蛛の巣をモチーフに竹の割箸などを利用してアーチ・タイパー架構を組み立てており、日常に着想を得たアイデアは見事。ぜひ会場で実物の展示をしてほしい。(宮城)